

連続
講座

いま、なぜプロレタリア文学か

「蟹工船」から広がる世界——。
専門研究者に気軽に質疑ができます。

期 間 2009年2月～5月(前期) 9月～11月(後期)
第二、第四火曜日 午後6時30分～9時

会 場 東京労働会館(ラパスビル)地下会議室
東京都豊島区南大塚2-33-10
JR山手線大塚駅(南口)徒歩5分

お申込み

主催*多喜二・百合子研究会 Fax03-3423-9325
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-6 新日本出版社気付

定員30名
資料代1回1,000円
(通し1万円)

テーマと講師

- | | | | |
|------|----------------------|----------------------------|-------|
| 〔前期〕 | ① 2月24日 [◎] | 大逆事件とプロレタリア文学の萌芽・平出修「逆徒」 | 祖父江昭二 |
| | ② 3月10日 | 谷中村鉍毒事件の波紋・伊藤野枝「転機」 | 久野 通広 |
| | ③ 3月24日 | 獄中で描かれた代表作・葉山嘉樹「海に生きる人々」 | 浦西 和彦 |
| | ④ 4月14日 | 戦場の日本兵の末路・黒島伝治「櫂」 | 能島 龍三 |
| | ⑤ 4月28日 | 労働者の連帯・徳永直「太陽のない街」 | 岩濑 剛 |
| | ⑥ 5月12日 | 大陸侵略を告発する戯曲・村山知義「暴力団記」 | 菅井 幸雄 |
| 〔後期〕 | ⑦ 9月 8日 | 貧と苦悩に生きる労働者の妻・松田解子「乳を売る」 | 澤田 章子 |
| | ⑧ 9月22日 | 経済恐慌下のたたかい・小林多喜二「工場細胞」 | 大田 努 |
| | ⑨ 10月13日 | 台湾農民への無法な支配・伊藤永之介「総督府模範竹林」 | 松澤 信祐 |
| | ⑩ 10月27日 | 反戦・革命の詩人・楨村浩「生ける銃架」 | 土井 大助 |
| | ⑪ 11月10日 | 権力の非人間性の追及・宮本百合子「一九三二年の春」 | 北田 幸恵 |
| | ⑫ 11月24日 | 渡辺順三、鶴彬ら短歌革命の歩み | 碓田のぼる |